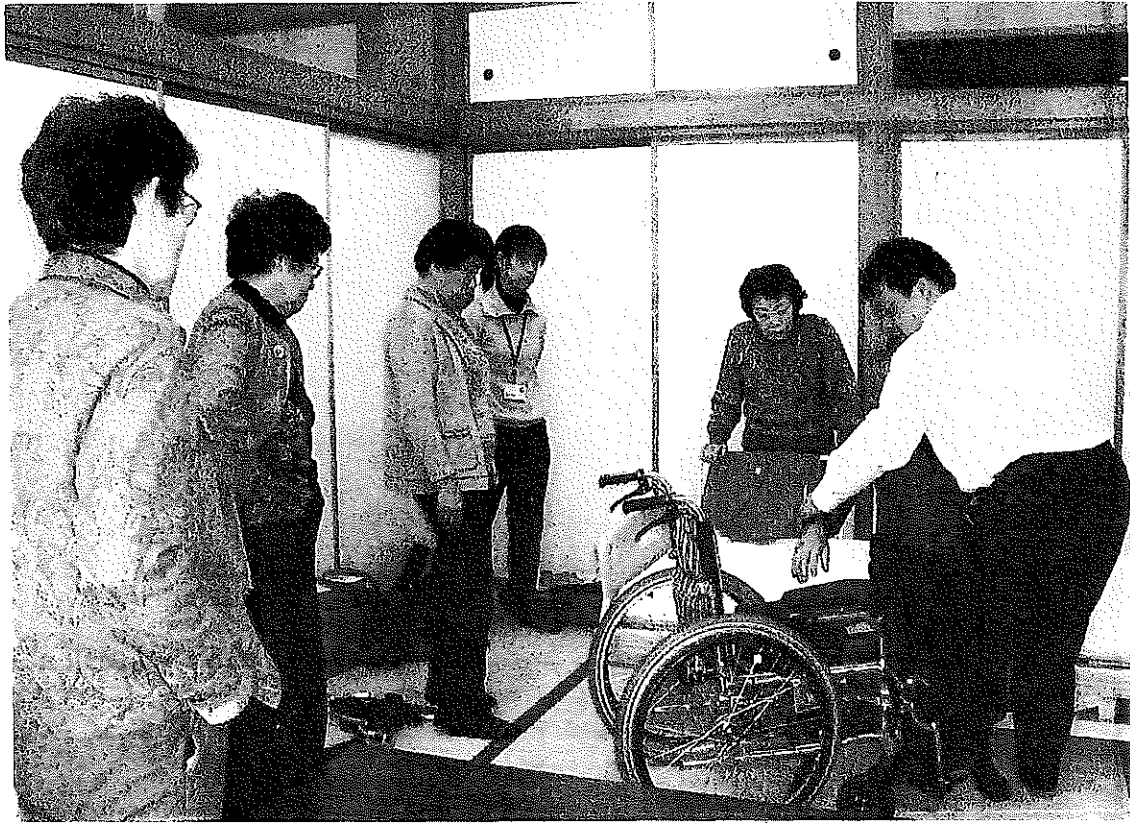


福祉のかけ橋

平成19年4月号

第42号



在宅介護リフレッシュ研修会状況

3月4日井波交流館ラフォーレにて

(2面に記載)

これからの福祉に想う

南山見地区社会福祉協議会

会長 小橋外喜雄

今や日本の国は、少子高齢化とともに人口減少時代に入ったと言われ、あけく借金大国の汚名までも出る始末、ある面では大変な激動期を迎えたと言わざるを得ません。そのため、現在改善、改革に多大なエネルギーを消耗していると言っても過言ではないと思います。

福祉の分野は年々増大拡大している中、考え方やニーズも大きく変わろうとしています。

福祉分野とは、高齢者老人福祉、障害者福祉、母子児童福祉、医療保健福祉等に大別されますが、基本的に何事も『予防』と言う問題が大きくな柱となり、『介護医療』『老人保健医療』等は地域において病気にかからない、介護保険の世話にならないと言う予防手段対策へと変わりつつあり、この課題に取り組みとき『住民参加の福祉社会実現』の理想を基に隣人同士の支えあいの思いやりの心を掘り起こすところに真の福祉があると思います。

私は本年度も統投することとなり責任の重大さを改めて痛感しています。地域の方々はもとより各グループの連携を密にして進めてまいりたいと思っておりますのでなお一層のご指導とご鞭撻を切にお願い致します。

役員研修

これからの福祉と今後の対応について



一月二十八日地区社協役員研修会が、県社会福祉協議会 地域福祉課 古野智也氏を講師にお迎えして、おこなわれました。

とに、地域福祉の推進に努めなければならぬ。福祉活動は、地域の人々の温かい心と行動力で地域の幸せづくり、お互いの思いやりで、善意を寄せあい助けあつて今後の福祉活動をつづけていきたいと思います。自分たちの住む町を、自分たちの手で、住み続けられるように。

(林みつ子記)

- 一、変わってきた社会的背景
少子化・高齢化や、家族機能の変化・大きな行政から小さな行政へ
- 二、福祉施策では
介護保健法・施設から地域へ
- 三、地域福祉のニーズの対応また、ネットワークづくりや、地域福祉の役割、幅広い住民参加やリーダーとしての自立の役割
- 四、地域福祉の視点
地域住民相互の協力と理解をも



保育園へ
歳末見舞い

十二月二十日(水)午後、小橋会長以下二人で保育園へ歳末見舞い品を贈り激励の訪問をしました。保育園では山田園長さん、職員さんに出迎えて頂きみかん箱を渡しました。園児達はお休みの時間帯で会えないのが残念でしたが園長さんは「有難う、子供たちは大変喜びます」と話され園をあとにしました。

(事務局)

三月四日、井波交流館ラフオーレに於いて、家庭で寝たきりの方々や、認知症の老人の方など病障者の在宅介護に当たっておられる方々を対象に、日頃の悩みや体験を話し合うとともに、介護の技術や、最新の機器、支援サービス等々について学習する研修会を、実施致しました。

午前中は、介護に関する「ビデオ視聴」次に「介護の実際」について、講師は、在宅支援センター介護士、島田美穂さんに、講演指導をして頂きました。

また、介護機器の紹介もあり、車いす、特殊寝台の実技

在宅介護者 リフレッシュ研修会



介護の実際

指導等々、皆さんと体験し、介護は長期になりますので、する者も、される者も、ユーモアで会話が何より大切であると話しされ、最後に日頃の苦勞や、体験を話し合い、有意義な研修会になりました。(畠和子記)

地域の福祉ケアネットワークにおける情報の共有を考えるシンポジウム

3月30日富山県総合福祉会館（サンシップとやま）にてシンポジウムと講演会が開催されました。

- ◆コーディネーター
立教大学コミュニティ福祉学部 教授 森本佳樹氏
- ◆シンポジスト
氷見市朝日丘校区社会福祉協議会 副会長 村上美奈子氏
富山県民生委員児童委員協議会地域福祉推進委員会
副委員長 高山礼子氏
(福)フォーレスト八尾会おわらの里すみれ工房
施設長 村上 満氏

ケアネット活動の実践についてや、民生委員児童委員活動における個人情報について、障害者と地域が協働する富山八尾風まちづくり活動について発表があり、意見が交わされました。続いて「地域のケアネットワークと個人情報保護」と題して森本佳樹氏の講演がありました。

ケアネット活動での支援に必要な情報の共有、住民と専門職、専門機関のそれぞれの役割や連携について学ぶ機会でした。（青山哲子 記）

高齢者福祉推進委員の方々が役員改選で新たに誕生

四月二十七日井波文化センターに於いて溝口南砺市長から井波地域全体で六十一名、南山見地区で十四名の方々に二年間の任期で委嘱状が交付されました。

委員皆さんには大変ご苦労をおかけしますが役割は援護を必要とする町内の六十五歳以上の独り暮らし高齢者、高齢者のみの世帯宅の安否確認、話し相手など担当民生委員と連携を確保し、情報提供を頂くことになっております。住

民の皆さんのご理解とご協力をお願い致します。（事務局）

推進員名簿

院瀬見一区	長田綾子 (八二・二四四九)
院瀬見二区	田中康司 (八二・二五一八)
院瀬見三区	武田三嘉 (八二・二四二〇)
院瀬見四区	山本紋子 (八二・二四四四)
東城寺	須川久信 (八二・二二九四)
清玄寺	池田ゆり子 (八二・二八九〇)
連代寺	山本義秀 (八二・一九二六)
志観寺	藤井昭夫 (八二・二〇三〇)
戸板	高瀬顕正 (八二・二四七三)
里原	高田和典 (八二・五〇四四)
川原	岩崎保子 (八二・一六九六)
沖崎	原田幸子 (八二・二〇三四)
南山見新	徳成花枝 (八二・一七六四)
	吉田慶子 (八二・五八三二)

第16回 ミニ託老世話方研修と会食ふれあい交流会

今年の冬は暖冬で過ごし易い日が続きました。去る二月十日地区社協と老連ミニ託世話方と合同で、食生活改善推進員の方の指導の元に里いも入り三色おはぎ、栄養豊富な和え物、食パンでバナナを巻いたおひな様風のおやつ、寒い時のあつたか鍋料理で「一人暮らし、高齢世帯」の方々をご招待させていただきました。五卓に分かれて鍋を囲んでの会食が始まり、和気あいあいと交流がはずみましました。午前中はビデオ鑑賞、午後からはボランティアの方の魚つりゲーム、二手に分かれて紙管を二ヶ使って糸巻々ゲームの競争をしたり、盛り上がり、歓声、真剣、和やかな内に閉会となりました。世話方としても、今年度も新しい思



考で努力し、次の機会に皆様にお会い出来る日をたのしみに、そしていつまでもご健康で過ごされま

すよう念じております。（前川昭子 記）

高齢者に歳末見舞品を届ける



毎年恒例の歳末見舞い配布の時期がきました。担当の地区を廻りました。

「元気にしておりますから、こんなことせられんでもいいちゃ」と恐縮される方や、「いつも楽しみにしております。ありがとうございます。」という方。

今回初めて歳末見舞いを受けられた方の中に、訪問した時、最初はびっくりなさって、次に「こり、後から「どなたにお礼を言え

ばいいですか？」とわざわざ電話してこられて、こちらが恐縮しておりました。来年も楽しみにしていただければ幸いです。（武田圭子 記）

平成19年度 南山見地区社協事業経過

(平18.12.23~19.3.30)

年月日	実施事業	場所
H18. 12. 23	歳末見舞い (80歳以上の高齢者・65歳以上の一人暮らし老人)	地区内
H19. 1. 1	福祉のかけ橋 41号発行	"
1. 18	委員会開催 (ふれあい会食交流会開催にかかる打ち合わせ会)	南山見公民館
1. 28	役員研修会開催 (講師・富山県社会福祉協議会主事・古野智也氏)	ラフォーレ
2. 10	ふれあい会食交流会開催 (75歳以上の高齢者世帯・65歳以上一人暮らし老人対象)	南山見公民館
2. 25	三世代交流の集いに参加協力	"
3. 04	在宅介護者リフレッシュ研修会開催 (講師・島田美穂氏)	ラフォーレ
3. 21	花鉢贈呈 (75歳以上の一人暮らし老人)	地区内
3. 28	南山見保育園卒園式 会長民生委員出席	南山見保育園
3. 30	地域福祉ケアネットワークにおけるシンポジウム (会長民生委員2人参加)	サンシップ富山



一人暮らしの方に
花鉢贈呈

暖冬の今年は、二月が暖かい日が多く、三月に入ると寒く感じる日が続きました。黄砂で空がかすみ、肌寒い三月二十一日昼近く、一人暮らし(七十五歳以上)の方を訪問し、心ばかりの花鉢をおとどけしました。今年、カラー(球根)の花鉢です。「花で日常の心身を穏やかに、元気をもらい、過ごされるよう望みます」と、小橋会長からお送りしました。(前川 諭)

今年も去る二月二十五日(日)公民館主催、地区社協等の共催で行われました。昔話やカルタを通じて郷土を知り、餅つき等の諸活動を全員で行うことにより、次世代への文化の伝承と三世代及び南山見地区住民の交流を一層深める目的があります。幼稚園児からお父さん、お母さん、じいちゃん、ばあちゃんまでたくさんの方が参加がありました。午前中は体育館で「方言で語る富山の昔話と日本の昔話」と題し、

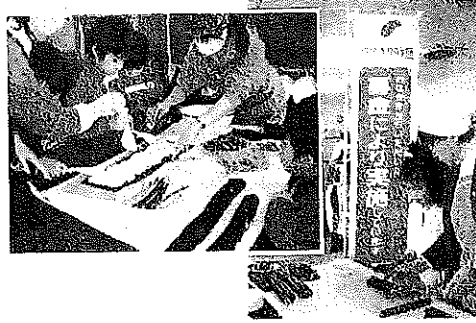
第18回
三世代交流の集い



高岡お話の会吉田千鶴子氏による講演を全員でできました。その後、保育園児による紙コップを使って手作りおもちゃ、一方では親子によるカルタ大会、昔の石うすを使つたきな粉つくりなど。お昼近くには調理室ではジャンボ大巻き寿司、豚汁作り教室、ホールでは全員参加による餅つき交流会が始まり、手作りきな粉餅、黒ゴマ餅など三世代の方々が一体となつて餅つき体験。昼食は手作り屋食会、みんなで作った寿司豚汁きな粉餅をみんなで配膳し全員で楽しく懇親会を終り後片付けをして閉会しました。このような行事が出来たことに今の核家族社会を考えると有意義な行事であつたと思ひますし今後共続けたいものです。世話をした下さつた関係者の方々大変ご苦労様でした。有難うござ

いました。

南砺市ではこのような三世代交流事業を奨励しております。実施している各地区社協には昨年度から地域歳末助け合い配分事業費の中から助成金の支援があり当社協も対象になり公民館で運用していただいております。(事務局)



編集後記

若葉薫る山に登り、眼下に広がる美しい散居村の砺波野に満足を覚える。この自然の美しさは、そこに住む皆が関わつて作り出しているのです。今日では、地域総ぐるみで環境保全の推進が呼び掛けられ、また地域福祉の面でも、ケアネットの推進とか……。(散居村の蛙)

号数	第四二一号
発行	平成十九年四月
所在	富山県南砺市川原崎 南山見公民館内
発行者	南山見地区社協

◎ 読んだら綴りましょう